

**一般財団法人伊勢神宮崇敬会**  
**令和4年度事業報告**  
(自令和4年4月1日 至令和5年3月31日)

本年度は、明治天皇の尊い思召しにより、神宮大麻の全国頒布が始まってから150周年に当たり、本会においては神宮大麻が全国のご家庭でより多くおまつりいただけるよう啓発した。

会員制度においては、より強固なものにする一段階として、会員の種別名称変更を行い、各地方本部・神社関係者・崇敬者との密接な連繋を図った。また神徳宣揚事業では、令和5年の倭姫宮御鎮座100年に向けた事業をはじめ、新たな事業の企画・運営を行い、神宮崇敬の拡充に努めた。

神宮会館の運営では、コロナ禍の長期化により、利用者の受け入れ人数の制限を余儀なくされた。一方で、旅行支援策の施行により、徐々に回復を迎える中、安全に安心してお過ごしいただけるよう、徹底した感染症対策を実施した。職員の知識と資質の向上を図り、内宮早朝参拝案内等において、伊勢の神宮が持つ魅力を、より多くの方に知っていただけるよう努めた。

## 1. 文化及び芸術の振興

### ① 神宮125社まいり

本年度で22期目。神宮で正宮・別宮・摂社・末社・所管社としてお祭りされる全ての社を年5回に分けて参拝し、様々な形で営まれる神宮の神祭りの姿とその心を学んだ。

・各巡拝日程

Aコース(4月14・15日)18名<3年度17名>

Bコース(5月26・27日)18名<3年度16名>

Cコース(6月13・14日)19名<3年度12名>

Dコース(9月26・27日)18名<3年度13名>

Eコース(10月27・28日)17名<3年度17名>

非会員も参加可

ホームページを活用し、コロナ禍でお伊勢まいりが叶わない会員様に向け125社の魅力を伝えるサイト「日本人の心のふるさと～お伊勢さんを歩こう～」を更新発信した。

### ② 倭姫命ご巡幸まいり

令和5年の倭姫宮御鎮座100年を記念して、今年度から新たに企画した。倭姫命の御事績や教えについて講話を行い、倭姫命がお定めになったと伝えられるお社に参拝し、旧蹟などを巡り、約二千年を遡る神宮の原点に思いを馳せ、崇敬心を深めた。

春コース(5月10・11日)18名

秋コース(10月19・20日)18名

非会員は参加不可

### ③ 神宮ばら園の運営

昭和62年10月に開園した神宮ばら園を運営して春と秋に無料開園し、訪れる方々に安らぎの場を提供した。また皇室敬慕の心を育むため皇族のお名前を冠したプリンセス・ローズを育成し公開した。開園期間外にも関心を寄せていただけるよう、コンテンツ配信用プラットフォーム「note」において、開花状況や育成記録等の情報を発信した。

### ④ 小笠原流礼法教室と神宮茶室での呈茶

今年度より名称及び内容を変更し1泊2日で開催した。初日は弓馬術礼法小笠原流三十一

世宗家 小笠原清忠氏による礼法教室を行い、二日目に神宮での神楽奉納と神宮茶室（今年度は内宮神楽殿）での呈茶を通して敬神の心とともに伝えられた「みやび」や「詫び寂び」の美に触れた。

<3年度までは「お神楽奉納と神宮茶室での呈茶」として開催>

<3年度は各月すべて取り止め>

6月（5月31日・6月1日）7名

9月（8月31日・9月1日）7名

3月（2月28日・3月1日）8名

非会員も参加可

#### ⑤ 神宮祭典の奉拝

2,000年に亘り営まれているお祭りを間近に奉拝し、そこに受け継がれる神祭りの心を体感する。夜間に行われる6月・12月の月次祭（内宮）と神嘗祭（外宮）の由貴夕大御饌をはじめ、年間恒例のお祭りの奉拝を予定していたが、昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため取り止めとした。<3年度取り止め>

#### ⑥ 夏至まいりと茅の輪作り体験

今年度から新たに企画し開催。夏至の日に神宮に参拝し、太陽の恵みのもとに営まれる大いなる自然の力に対する感謝と畏敬の念を深めた。また、古来この季節には夏越の祓いを行い、無病息災を願う風習があり、それに因んだ茅の輪作りを体験し、身体健全を祈った。

（6月21・22日）14名

非会員は参加不可

#### ⑦ 第45回神恩感謝祭

神宮の六月月次祭に際し会員が伊勢に集い、神宮の広大なるご神恩に感謝の真心を捧げ、会員各位の隆昌を祈念するお神楽を奉納した。あわせて、神宮に関する講演『全国の神社がなぜ神宮大麻を頒布するのか』（講師：神社本庁本宗奉賛部長 湯澤豊氏）を行い、夜には風日祈宮の由貴夕大御饌の儀の時刻に合わせ、宇治橋前にて遙拝なども行った。

（6月24・25日）65名<3年度61名>

非会員も参加可

#### ⑧ 第4回神宮奉納弓道大会

「一度は、伊勢の神宮弓道場で弓を引いてみたい」という全国の弓人の切望に応え、地元弓道関係者の協力のもと、神宮奉納弓道大会実行委員会（主管）にて開催した。全国から参加を募り、弓道技能の向上と弓友相互の親睦を図った。

（7月8・9日）138名<3年度取り止め>

#### ⑨ 第51回初穂曳への参加

神嘗祭に合わせて全国からの初穂米を募り、伊勢の伝統文化行事「お木曳」継承のための「初穂曳」の参加と、外宮神嘗祭・由貴夕大御饌の奉拝を予定していたが、昨年同様、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、奉曳と夜間奉拝の参列者募集は取り止めとした。

なお、全国各地より寄せられた懸税・初穂は、地元関係者の協力のもと奉納を行った。

〔神社本庁協力〕（10月15日）

⑩ 第 68 回伊勢神宮新穀感謝祭

本年も新穀収穫への感謝の奉告祭を執り行った。併せて農林水産業の振興に貢献された功労者を顕彰し、我が国の農事全般の発展を祈念した。昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、特別参拝及び神楽殿の登殿人数を制限した上で、協力関係者の多大なるご理解のもと、無事に斎行することができた。

(11月9日～12月13日) 参列者 3,337名・農事関係功労者顕彰 21名  
<3年度 参列者 1,212名・農事関係功労者顕彰 23名>

⑪ 第 61 回伊勢神宮奉納書道展

毎日新聞社との共催で全国各地から書作品を公募し、内宮饗膳所に於いて展示し、併せて文部科学大臣賞をはじめ優秀作品の受賞者を招待し表彰した。1,400年以上にわたり育まれてきた書道の伝統文化を振興し、書にみる芸術性を喚起した。

(11月26日～12月5日、表彰式12月3日)  
出展 18,073点 展示 524点<3年度 出展 17,956点 展示 580点>

⑫ 令和 4 年の御礼まいり

神宮の十二月月次祭に際し一年の締めくくりとして大御神様のご神恩に感謝の真心を捧げ、皇室の弥栄、国家の安泰及び参加者各位の平安・隆昌を祈念するお神楽を奉納した。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、別宮月次祭の夜間奉拝を取り止め開催した。

月読宮コース (12月18・19日) 39名<3年度 38名>  
倭姫宮コース (12月24・25日) 26名<3年度 38名>  
非会員も参加可

2. 児童及び青少年の健全育成

① 第 13 回伊勢と神宮 伝統文化体験教室

全国の小学生とその保護者を対象に、伊勢を中心に育まれた伝統文化を学び、歴史や文化を尊ぶ健全な心の育成を目的とした体験型教室を開催した。神宮の神事でも行われる火鑽具による火起こしや、伝統文化に因んだ工作の体験を行った。

(8月3・4日) 4名<3年度 18名>  
非会員も参加可

② 第 60 回伊勢神宮奉納全日本学生弓道大会

全日本学生弓道連盟・神宮司庁・三重県弓道連盟との共催で、第 70 回全日本学生弓道王座決定戦・第 68 回東西学生弓道選抜対抗試合・第 46 回全日本学生弓道女子王座決定戦・第 46 回女子東西学生弓道選抜対抗試合を開催した。

(11月24～27日)

③ 第 18 回神宮奉納お伊勢まいり作文コンクール

小学生を対象に全国より伊勢の文化に触れる作文を募集し、表現力を含め優秀な作品を選定し表彰式を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の社会情勢の観点から、募集・表彰式ともに取り止めとした。(表彰式3月11日)<3年度取り止め>

### 3. 会員組織の拡充と展開

#### 崇敬会会員の現状

年度	賛助会員	正会員	会員	合計	維持会員
4年度	6,627名	7,871名	4,147名	18,645名	団体310件・個人24件
3年度	6,610名	7,708名	4,092名	18,410名	団体のみ310件

#### ① 入会促進

日本人の大きな精神的支柱である伊勢の神宮を多方面から紹介し、受け継がれてきた神を敬い日本を愛する心の涵養に努める。会員制度運営をより強固なものにする一段階として、会員の種別名称変更を行い、遷宮を次世代へと繋ぐ「懸け橋」として、祭典案内等の様々な施策を講じ、会員の拡充を図った。また、神宮125社を伝える特設ページ「日本人の心のふるさと～お伊勢さんを歩こう～」など、ホームページを活用し、神宮はもとより伊勢の魅力や歴史を継続発信した。

今期目標 個人会員20,000名（賛助会員7,000名 正会員8,000名 会員5,000名）  
維持会員500件（団体400件 個人100件）

都道府県	正会員	会員	準会員	合計
東京都	884	1,663	787	3,334
神奈川県	469	404	172	1,045
埼玉県	250	266	115	631
群馬県	86	81	43	210
千葉県	396	216	76	688
茨城県	72	50	35	157
栃木県	72	42	59	173
山梨県	43	96	49	188
北海道	243	255	161	659
宮城県	62	62	38	162
福島県	70	136	53	259
岩手県	18	33	41	92
青森県	67	27	18	112
山形県	43	30	5	78
秋田県	21	39	8	68
三重県	327	345	68	740
愛知県	531	508	317	1,356
静岡県	265	221	612	1,098
岐阜県	142	162	49	353
長野県	125	405	71	601
新潟県	81	93	109	283
福井県	38	43	10	91
石川県	81	66	15	162
富山県	121	134	36	291

都道府県	正会員	会員	準会員	合計
京都府	171	158	42	371
大阪府	461	489	148	1,098
兵庫県	232	265	96	593
奈良県	59	71	28	158
滋賀県	75	66	16	157
和歌山県	44	48	15	107
鳥取県	21	40	14	75
島根県	43	37	46	126
岡山県	82	121	71	274
広島県	86	73	25	184
山口県	76	68	30	174
徳島県	45	67	6	118
香川県	70	53	13	136
愛媛県	44	26	28	98
高知県	95	65	10	170
長崎県	23	288	7	318
福岡県	275	294	248	817
大分県	41	46	16	103
佐賀県	57	62	273	392
熊本県	54	88	27	169
宮崎県	13	15	3	31
鹿児島県	35	32	14	81
沖縄県	16	20	24	60
海外	2	2	0	4
合計	6,627	7,871	4,147	18,645

## ② 第 27 回会員研修会

今年度から同じ内容で年 2 回、1 泊 2 日で開催した。初日は神宮大麻に関する講話、玉串奉奠の実技講習の後、内宮古殿地清掃奉仕、内宮夜間参拝を行った。二日目は外宮特別参拝、神宮徴古館・美術館・せんぐう館で開催の『生きる正倉院』展を見学の後、内宮特別参拝・御神楽奉納を行い、神宮崇敬心の涵養に努めた。

春（5 月 18・19 日）35 名<3 年度 27 名>

秋（10 月 6・7 日）29 名<3 年度特別編取り止め>

非会員は参加不可

## 4. 宿泊、研修施設等の運営

### ① 神宮会館の運営

お伊勢まいりの宿として、早朝参拝案内をはじめ参宮促進及び御神徳宣揚に努め、伊勢の神宮が伝えてきた文化及び芸術の魅力をより多くの方に知っていただけるよう努めた。宿泊者に安全に安心して大切なひとときをお過ごしいただけるよう諸対策を徹底した。なお、感染症対策として政府並びに監督官庁、三重県の方針及び、「宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」（日本旅館協会）に準じて運営を行った。

宿泊利用者 25,011 名（1 日平均 68.52 名・部屋稼働率 50.22%）

※令和 3 年度 17,487 名（1 日平均 47.90 名・部屋稼働率 37.97%）

月度	大人	学生小人	宿泊合計	月度	大人	学生小人	宿泊合計
4	1,853	86	1,939	10	2,300	294	2,594
5	1,953	151	2,104	11	1,828	745	2,573
6	1,994	28	2,022	12	1,837	214	2,051
7	1,620	213	1,833	1	1,764	52	1,816
8	1,751	460	2,211	2	1,609	178	1,787
9	1,784	94	1,878	3	1,782	421	2,203
				合計	22,075	2,936	25,011

### (ア)第 22 回八朔まいりとお水汲み

伊勢では八朔の日（8 月 1 日）に五十鈴川の水を汲んで瀧祭神に参拝し、その水を神棚に供えて 1 年の家内安全・無病息災を祈る風習があり、その体験を行った。

（7 月 31 日・8 月 1 日）50 名<3 年度 38 名>

非会員も参加可

### (イ)第 23 回冬至まいりと注連縄作り体験

冬至の日は雨が降り、宇治橋大鳥居正面から昇る朝日は望めなかったが、内宮にて特別参拝を行い、自然に対する感謝と畏敬の念を深めた。また、伊勢では年中玄關に注連縄を飾り無病息災を願う風習にならない伊勢特有の注連縄作りを体験し、新年にむけて家内平安への思いを込めた。

（12 月 21・22 日）39 名<3 年度 35 名>

非会員も参加可

### (ウ)厄年まいり

厄年という人生の節目に際して、節分という「鬼を払い福を招く」季節にあわせて神宮に参拝し、様々な厄を祓い、厄年およびそれ以降の人生の安寧を祈るお神楽を奉納し、厄除けのお守りをいただいた。

(2月2・3日) 10名<3年度7名>  
非会員も参加可

#### (エ)還暦まいり

還暦という人生の節目に際して、立春という四季の始まりの季節にあわせて神宮に参拝し、それまでの神恩への感謝とこれからの人生へのご加護を祈るお神楽を奉納し、身体健全のお守りをいただいた。

(2月9・10日) 18名<3年度19名>  
非会員も参加可

#### (オ)第32回お伊勢さん正宮・別宮まいり

その年の豊穰を祈る神宮の祈年祭に合わせて、内宮・外宮の両正宮と全別宮を1泊2日で巡拝し、別宮の祭典奉拝や神宮の文化施設見学も行った。

(2月17・18日) 21名<3年度17名>  
非会員も参加可

## 5. 会報、図書その他印刷物の編纂と刊行

### ① 会報誌「みもすそ」

皇室・神宮に関する記事、伊勢志摩の歴史・文化の話題や本会行事などの情報発信源の主力媒体として編集し、各会員に配布。創刊から今年度1月で105号発行となった。

4月(102号)は「大麻と朱印と大御おおみ璽」、7月(103号)は「神宮大麻のおまつり」、10月(104号)は「日本の神々」、1月(105号)は「倭姫命(上)皇大神宮御鎮座へ」を特集した。(年4回発行)

今年度は、神宮大麻全国頒布150周年に当たることから、前年度より連載中の神宮大麻特集記事を1冊にまとめた「みもすそ」特別編を発行した。

### ② 叢書

神道有識者に執筆を依頼し御神徳の宣揚、神社神道の昂揚を図るための叢書を刊行した。  
叢書26『神宮大麻の原点と本質』 神宮権禰宜 大野由之氏

### ③ ガイドブック「お伊勢まいり」

お伊勢まいりに際し、手軽に携帯していただくハンドブックとして、フルカラー版を神宮監修編集のもと刊行した。

## 6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### ① 昼食の利用促進

神社関係者を中心に働きかけ、お神楽奉奏の団体には直会饗膳も提案した。  
利用者17,712名(平均48.5名/日)、令和3年度9,567名(平均26.2名/日)

### ② 物品、記念品の販売

会館利用者並びに崇敬会会員へ記念品や特産品の販売、木製品等の参宮記念品の謹製・頒布を行った。特に神宮大麻が全国のご家庭でより多くおまつりいただけるよう現代の生活空間に合った神棚を提案した。また神社本庁発行の形で運用されてきたカレンダーを

「伊勢の神宮 ISE-JINGU KOYOMI」として神宮監修のもと発行し送付した。

③ 研修施設及び神宮相撲場の利用促進

講堂（大ホール・会議室）及び神宮相撲場の利用促進を図った。

④ 神宮参拝者駐車場の運営

内宮前の渋滞緩和の一助として、神宮会館横に隣接する立体駐車場を運営した。

年度	乗用車	バス	合計	有料乗用車	有料バス	有料合計
4年度	172,434台	593台	173,027台	153,045台	6台	153,051台
3年度	147,952台	240台	148,192台	132,173台	2台	132,175台

⑤ コインロッカーの運営

宇治橋前にコインロッカーを設置し、内宮参拝者の便宜を図る。

経年劣化並びに大きい荷物にも対応できるようロッカーの入替えを行った。

⑥ 太陽光発電事業の運営

我が国のエネルギー政策である Co2 排出削減や再生可能エネルギー導入拡大への協力を行い地球環境保護に貢献するとともに、神宮会館経営の一助とした。

⑦ 神社関係者大会等に出向

各地で開催される神社関係者大会等に出向き、本会の広報を行った。

⑧ スポーツ及び文化活動への助成

行政を含めた協賛・後援依頼団体の行事及び事業の助成をした。

⑨ 参宮案内所における案内

神宮の参宮案内所(宇治橋前)に職員を派遣し、神宮に関する案内を行った。

## 7. 施設の改善

① 神宮司庁に依頼して施工された施設改修及び修繕

本館屋根改修工事、管理棟前松の木伐採、本館前松の木消毒

② 本会にて実施した施設改修及び修繕

消防設備点検・修繕工事、本館照明器具取替、西館空調設備・乾燥機取替工事  
高圧電線付近樹木剪定（ばら園前）、西館洗面化粧台照明器具取替（LED化）  
弓道場付近石畳洗い出し工事

## 8. 役職員数

理事13名、監事2名、評議員15名、職員 渡邊事務局長 外44名

## 9. 会議

1. 運営委員会 5月16日（神宮司庁会議室）令和3年度事業報告・決算 他
2. 監事会 5月19日（神宮会館会議室）令和3年度業務及び会計監査

- |               |                 |                |  |
|---------------|-----------------|----------------|--|
| 3. 第22回理事会    | 5月20日 (神宮会館会議室) | 令和3年度事業報告・決算   | 他  |
| 4. 第10回定時評議員会 | 5月20日 (神宮会館会議室) | 令和3年度事業報告・決算   | 他  |
| 5. 第23回理事会    | 5月20日 (神宮会館会議室) | 理事長の選定について     | 他  |
| 6. 運営委員会      | 9月 3日 (神宮会館会議室) | 令和4年度事業報告 (中間) | 他  |
| 7. 事務局長会      | 9月17日 (神宮会館会議室) | 事業報告・計画        | 他<取り止め><br>※新型コロナウイルスの感染症拡大防止に考慮し開催を取り止<br>め書面報告とした。 |
| 8. 代議員会       | 9月29日 (神宮会館大講堂) | 令和3年度事業報告・決算   | 他  |
| 9. 運営委員会      | 3月10日 (神宮会館会議室) | 令和5年度事業計画・予算   | 他  |
| 10. 臨時評議員会    | 3月14日 (神宮会館会議室) | 令和5年度事業計画・予算   | 他  |
| 11. 第24回理事会   | 3月14日 (神宮会館会議室) | 令和5年度事業計画・予算   | 他  |

以 上